

事業名	雌牛改良促進事業（肉用牛広域後代検定推進事業、育種牛群整備事業）		
予算区分	県単 (20,314千円)	担当	飼養技術研究室 生産性向上研究グループ 改良技術研究室 繁殖システム研究グループ 育種改良研究グループ
事業期間	継続 (平成元年度～)	協力関係	県下5家畜保健衛生所
事業目的	<p>優秀な種雄牛を造成するため、計画的な交配により優良繁殖雌牛を生産・保留するとともに、岡山系雌牛の系統の固定化を進めるため系統牛を保留し、もって和牛改良に資する。</p> <p>また、候補種雄牛の産肉能力検定に必要な後代検定牛を生産する。加えて、フィールドにおいて生産効率の高い農家を育成するため、優良繁殖雌牛から採卵した受精卵を県下の生産者へ供給することにより、雌牛の改良増殖に資する。</p>		
<p>○ 本年度事業のねらい</p> <p>肉用牛の改良を計画的に行い、産肉能力に優れた種牛の確保と、生産効率の高い農家を育成し、肉用牛の生産振興を図る。</p> <p>事業1 優良繁殖雌牛の生産・保留 〈事業の内容〉 当所において、育種能力の優れた牛群を造成するとともに、岡山系雌牛系統の固定化を推進し、候補種雄牛、後代検定牛及び供卵牛の基礎となる繁殖雌牛を生産するため、育種価の高い（脂肪交雑Aランク以上、期待育種価、母育種価を含む）雌牛への人工授精及び該当牛から採取した受精卵を低育種価牛へ移植する。</p> <p>事業2 候補種雄牛の後代検定牛の生産 〈事業の内容〉 効率的に後代検定子牛の生産を行うために、当所繋留の繁殖雌牛に候補種雄牛を交配する。</p> <p>事業3 直接検定牛の生産 〈事業の内容〉 育種価の高い（脂肪交雑Aランク以上、期待育種価、母育種価を含む）雌牛から受精卵移植等により直接検定牛の生産を行う。</p> <p>事業4 岡山県下における優良繁殖雌牛群の造成（広域後代検定推進事業） 〈事業の内容〉 県下において、生産効率の高い農家を育成するため、フィールドで育種価の高い（脂肪交雑Aランク以上、期待育種価、母育種価を含む）雌牛から受精卵を採取し、事業1に供するとともに、県下の生産者へ供給する。</p> <p>事業5 広域後代検定推進事業により生産された産子の調査及び保留促進 〈事業の内容〉 本事業により生産された産子について、雌産子は県内保留、雄産子は候補種雄牛としての選抜を促進するため、県民局、家畜保健衛生所及び全農岡山県本部等と連携を図りながら産子調査を実施する。</p> <p>○ 前年度までの成果</p> <p>事業1 優良繁殖雌牛として10頭を生産・保留し、その内、岡山系雌牛として保留したのは3頭であった。</p> <p>(1) 保留優良繁殖雌牛（百合茂、美津照、隼勝忠） 4頭 （百合茂×たまゆり56、美津照重×もとじろう11、隼勝忠×8さわひめ2・・・2頭）</p> <p>(2) 岡山系繁殖雌牛（新岡光81、糸勝百合、美恵茂） 6頭 （新岡光81×ひろはつはな・ゆりこ・みきはなよしかつ、糸勝百合×ひろはつはな、美恵茂×8さわひめ2・たかみず8の2）</p> <p>事業2 後代検定牛として15頭を生産した。（R3.1.27現在） （内訳：新花百合産子3頭、糸勝百合産子12頭）</p> <p>事業3 直接検定牛として11頭を生産した。（R3.1.27現在） （内訳：新岡光81産子2頭、美恵茂産子5頭、隼勝忠産子2頭、美津照重産子他）</p> <p>事業4 当所繋留の雌牛に対して採卵を実施し、正常卵417個（1回平均6.5個）を採取した。 また、県内農家繋留の雌牛2頭に対して採卵を実施し、正常卵15個を採取した。 令和2年度に配布した受精卵は254個であり、その内訳は、新鮮卵146個、ダイレクト凍結卵32個、ガラス化法凍結卵76個であった。（R3.4.13現在）</p> <p>事業5 これまで供用した供卵牛124頭から作出された受精卵産子の保留状況調査を実施した結果、470頭が繁殖雌牛として飼養されており、子牛登記された雌牛の35%が保留されていた。（H30.10時点）</p>			